

平成26年度（平成26年12月実施）

「読書に関する調査」のまとめ

学校教育課通信

平成27年2月20日（金） 第110号

編集・発行：県南教育事務所 寺木 誠伸

平成26年12月に実施した「読書に関する調査」の県南域内の調査結果です。今回の結果を各学校での読書活動の推進、充実に役立てていただければ幸いです。なお、各市町村教育委員会並びに各小中学校につきましては、ご協力いただき誠にありがとうございました。

- 1 調査人員 域内全小・中学校全学年（1学級抽出又は全学級）
計 7,596人（域内全小・中学校在籍者数の約60.6%）

- 2 調査結果と考察（※比較しやすいように過去2年分も併記しました。）
（平成26年11月の平均）

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
平均冊数	15.0冊	14.2冊	11.0冊	8.7冊	5.1冊	4.2冊	2.7冊	2.3冊	1.8冊
不読者	1.5%	0.7%	2.8%	3.5%	6.4%	1.9%	7.0%	20.6%	26.4%
8冊以上	70.6%	62.0%	45.4%	41.4%	20.2%	12.2%	3.4%	3.6%	2.3%

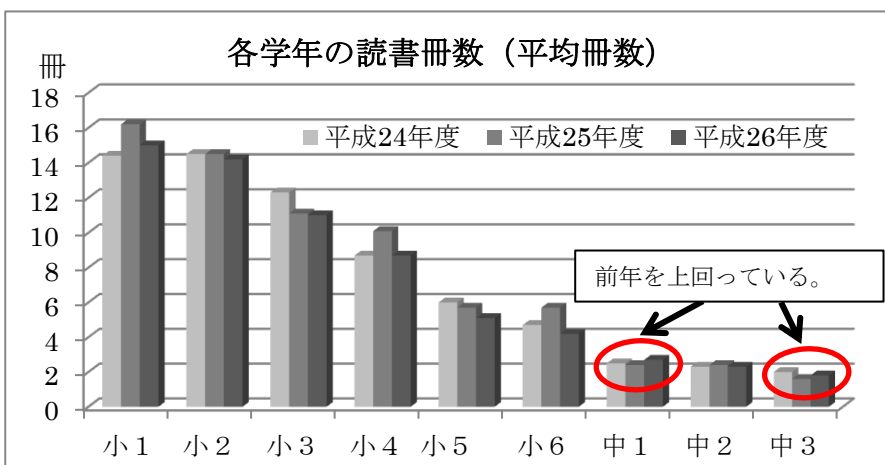
（平成25年11月の平均）

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
平均冊数	16.2冊	14.5冊	11.1冊	10.1冊	5.7冊	5.7冊	2.4冊	2.4冊	1.6冊
不読者	1.7%	1.7%	0.6%	2.5%	2.8%	3.8%	22.0%	24.2%	32.7%
8冊以上	68.0%	65.0%	56.1%	42.3%	22.8%	22.4%	3.7%	7.0%	2.3%

（平成24年11月の平均）

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
平均冊数	14.4冊	14.5冊	12.3冊	8.7冊	6.0冊	4.7冊	2.5冊	2.3冊	2.0冊
不読者	0.3%	0.3%	2.8%	3.1%	0.8%	4.0%	12.4%	17.2%	25.9%
8冊以上	71.5%	69.3%	61.3%	43.2%	27.6%	16.9%	4.6%	2.9%	3.9%

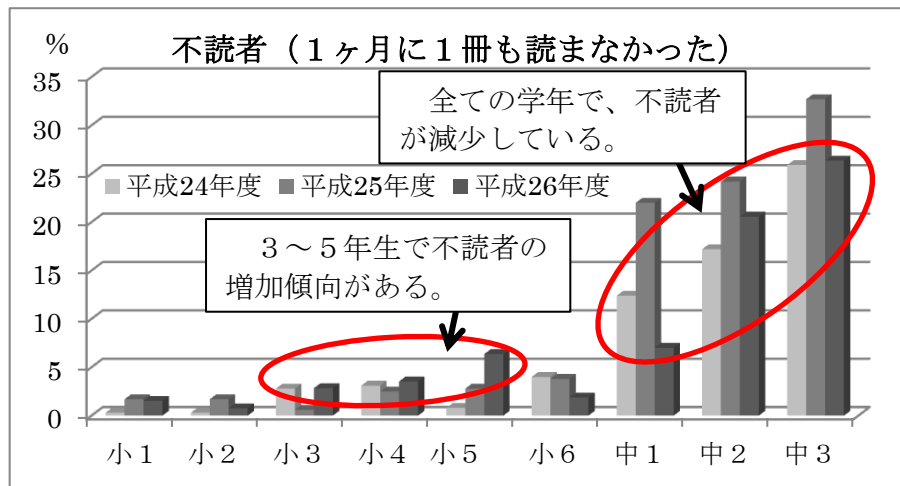
【平均読書冊数比較の考察について】



○ 小学校では全ての学年で前年度より下回ってしまいましたが、中学校では1年生と3年生が前年度より上回っている。また、小学校全体の平均読書冊数は9.5冊で前回より0.8冊下回った。中学校全体では、2.3冊となり、前年度より0.2冊増加している。中学校において読書への意識が高まっていると考えられる。

- 学年が上がるにつれて減少する傾向は変わらず、特に、中学年から高学年、小学校から中学校の段階で極端に減る傾向にある。この時期に、さらに手だてを講じる必要がある。

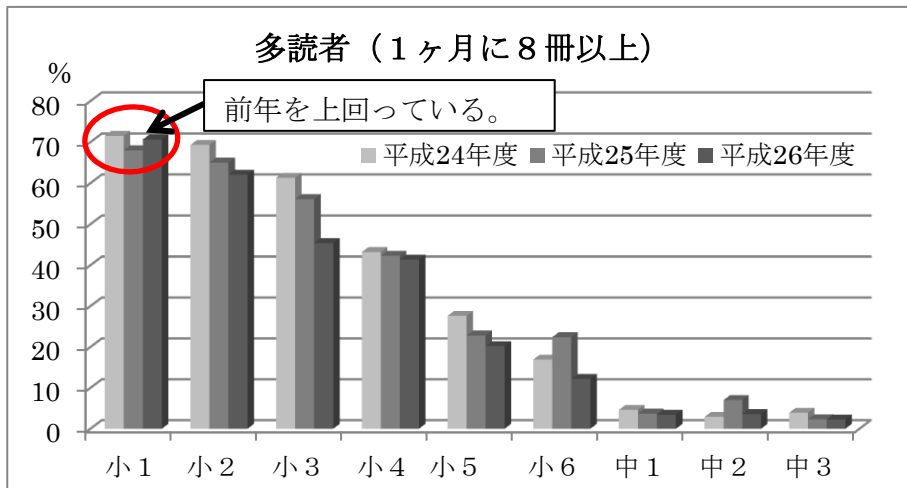
【不読者比較の考察について】



- 小学校では3～5年生で不読者が増加したが、他の学年では減少している。特に、中学校では、不読者の減少が顕著であり、1年生では15ポイントも減少している。また、2・3年生も大きく減少しており、学校全体での読書活動への意識が高まっていると考えられる。

- 11月に実施した「学校図書館の現状に関する調査」からすると域内の全ての小・中学校において全校一斉の読書の時間が設けられている。「朝の読書」など意図的に読書の時間を設けていても不読者がいるということは、読書の時間が形骸化している可能性もあるということである。教師も一緒になって読書を楽しむなど、読書の魅力をとともに味わうことが大切である。
- 読まない理由として、小学校では、第1位「ゲームの方が楽しい」第2位「雑誌やマンガのほうが好き」第3位「本が嫌い」となっている。中学校では、第1位「勉強・塾・宿題などで忙しい」第2位「雑誌やマンガのほうが好き」第3位「本が嫌い」となっている。小・中学校ともに読書の意義やおもしろさを味わわせるような指導の工夫が必要である。

【多読者比較の考察について】



- 前回に比べ、多読者が増加している学年は小学校1年生のみであり、2.6ポイント増加している。
- 国語科の授業では、单元の中に読書を位置づけ、「並行読書」の取組をしている学校も見られる。今後も、積極的にさまざまな本に触れる機会を設ける必要がある。

- 中学校においては、ページ数が増え単純に冊数だけの比較では見えない部分もある。今後、多様な種類の本に触れたり、自分の生き方や考え方に影響を与えるような本に出会えるような場を設けたりしたい。
- 「読書したきっかけ」については、小学校では第1位「学校の図書館で見つけた」第2位「本屋で見つけた」第3位「公共の図書館で見つけた」となっている。第1位の「学校の図書館で見つけた」割合は55%になる。小学校では、学校図書館の活用が非常に重要である。中学校の第1位は「本屋で見つけた」第2位「学校の図書館で見つけた」第3位「友達に紹介された」となっている。興味のある本を自分で購入したり、紹介されて興味をもったりすることが特徴的である。